

みんなの環境

第 32 号 2012 年 8 月 12 日

編集/発行 あつぎ環境市民の会

http://www.geocities.jp/atsugi_kankyo/

映画『チェルノブイリ・ハート』

私たち大人が、子どもたちを放射線から守るには

名切文梨*

東日本大震災から、1年半が経ちました。多くの犠牲者をだした地震と津波。この天災に、人災が加わりました。東京電力福島第一原発事故です。



爆発した原子力発電所からは、本来厳重に管理されなければならない放射性物質が放出して、私たちの生活の場に降り注ぎました。そして、今なお放出し続けています。当時、国は「ただちに健康に影響することはない」という言葉を繰り返していました。では、ただちにでなければ、将来健康にどのような影響を及ぼすのでしょうか？色も味も匂いもない放射性物質は、呼吸や食事、皮膚からも体内に入り込み、特に成長著しい子どもたちの骨や筋肉、各器官が、栄養分と間違えて取り込んでしまいます。放射性物質が放つ放射線は、遺伝子を傷つけ、修復できない遺伝子は、時間が経ってから癌化するなど、異常な働きをします。胎児や子どもは、大人の何倍もリスクが高いことは、科学的に確認されています。

大人の何倍も、免疫力が低下しやすく、癌になりやすく、後遺症が残りやすく、将来子どもを授かった時、傷ついた遺伝子が子孫に伝わりやすくなります。子どもたちは、高いリスクを背負わされ、日々暮らしていくこととなります。私たち大人が、未来ある子どもたちを放射線から守らなければなりません。

今から 26 年前、チェルノブイリで日本と同じレベル 7 の原発事故が起きました。被曝した子どもたちには、どのような影響が出たのでしょうか。

『チェルノブイリ・ハート』は、2002 年につくられたドキュメンタリー映画です。チェルノブイリ原発事故から 16 年経った周辺地域の子どものおかれた状況を伝えています。80 km 離れたゴメリ市では、健常児が生まれる確率が 15~20%。免疫力が弱いため、死亡率が高いそうです。それは、チェルノブイリ事故の前では、見られなかった現象だそうです。

東京電力福島第一原発事故は、政府が悪いのか、電力会社が悪いのか、原発の危険性を提唱し続けた専門家の言葉を無視し、また知ろうともしなかった大人たちが悪いのか。ひとつだけ言えることは、子どもたちに罪はなく、その責任を子どもたちが負わなければならないということは、決してないということです。私たち大人は、もう知らないでは済まされません。

まずは、放射能の影響を知ることから始めましょう。日本の子どもを守るために。日本の未来を守るために。

(*なきり・ふみな あつぎ環境市民の会 厚木市市議会議員)



映画『チェルノブイリ・ハート』上映会

2012年9月21日(金) 18時開場 18時30分開演

厚木市文化会館小ホール

○講演「原発のリスクを学ぶ」高田ゆみ子氏（みえない雲 翻訳者）

○映画「チェルノブイリ・ハート」 監督・プロデューサー：マリアン・テレオ

入場料：前売り 800円 当日 1000円 学生 500円

前売り所：厚木市文化会館（046-224-9999）、有隣堂厚木店、晴れ屋

主催・お問い合わせ：あつぎ環境市民の会 046-224-5010（狩野）

後援：厚木市・厚木市教育委員会

6月のNO₂（二酸化窒素）測定結果

神奈川工科大・応用化学科斎藤研究室と連携 課題や要望が見えてきた

6月7、8日に厚木市内32地点で、NO₂測定のため捕集管を設置・回収を行った。当会発足時から続け、昨年6月から神奈川工科大学応用化学科の斎藤研究室と連携して三回目になる。結果は表1のようになった。

これを見ると、KR-04地点が61ppbと最も高く、基準値の上限の60ppbを少し超えている。濃度が高い理由としては交通量が多いことであると考えられる。この理由からB-6地点が51ppbと高いことも言える。逆に、最も低いのはA-18、B-2地点で1ppbとなった。また、市内の東西を示すA-11～20地点では1～15ppbと、測定場所の中心にあたるA-5地点よりも低い値になった。このように、交通量が多い道路付近の地点ではNO₂濃度は高くなり、交通量が少なく自然が多い所は濃度が少なくなることがわかる。

では、どのようにNO₂濃度を測定したのか簡単に説明したい。濃度を調べたい地点に図1の捕集管を設置する。設置して24時間後に回収する。そして、赤紫色に発色させるザルツマン試薬を入れ、振り混ぜ、しばらく置いておく。その後、光の吸収で濃度を測定する吸光光度計を用いて、NO₂濃度を測定する。今回は曇りで風が強く、捕集管が飛ばされるかと心配したが、32地点すべて回収できた。

今回の測定で課題と要望が見えてきた。課題は二つある。①前回も言ったように、地域の人にこの測定をもっと知ってほしいことである。どうして測定しているのか知ってもらったり、



図1：捕集管（右）と遮光用アルミ製の袋

表 1. 捕集管設置場所とその濃度

ポイント	場所	濃度 [ppb]	ポイント	場所	濃度 [ppb]
<i>KR-01</i>	金田交差点	18	<i>KR-02</i>	相模大橋際	21
<i>KR-03</i>	荻野新宿交差点	19	<i>KR-04</i>	市立厚木病院	61
<i>KR-05</i>	厚木バスセンター	32	<i>KR-06</i>	市立厚木小学校	10
<i>A-1</i>	妻田西 2-6-22	25	<i>A-2</i>	妻田西 1-7-3	25
<i>A-3</i>	松枝 2-5-17	21	<i>A-4</i>	水引 2-6-29	22
<i>A-5</i>	栄町 2-6-28	23	<i>A-6</i>	恩名 421-2	45
<i>A-7</i>	恩名 33	33	<i>A-8</i>	船子 576	46
<i>A-9</i>	岡田 3002	36	<i>A-10</i>	反町 3042	27
<i>A-11</i>	中町 1-4-3	15	<i>A-12</i>	中町 3-17	9
<i>A-13</i>	恩名 824-1	15	<i>A-14</i>	恩名 1505	7
<i>A-15</i>	沖原 1557	4	<i>A-16</i>	温水西 2-25	3
<i>A-17</i>	毛利台 1	11	<i>A-18</i>	愛名 538	1
<i>A-19</i>	旧青学	5	<i>A-20</i>	森の里 2-11	3
<i>B-1</i>	中津川大橋高架下交差点	4	<i>B-2</i>	鳶尾 3 - 11	1
<i>B-3</i>	下荻野 824	6	<i>B-4</i>	三田 745	11
<i>B-5</i>	上荻野 (厚木市最北端)	4	<i>B-6</i>	関口中央交差点	51

pb …10億分の1

どのように対策したらいいのか会員のみならず市民も考えてもらったりしてほしい。②測定地点をどうするかである。今回は日にちがいつもと違ったので、相談できなかった。今後どうするか考えていきたい。

次に要望が三つある。①測定時間帯をできるだけ近づけたいことである。時間帯が違くと濃度が変わるかもしれない。今後実施したいと考えている。②測定地点がどこかを知り、今後の測定に生かせるようにしたい。どんな場所で測定したのか、どのような条件の所なのか知って、どのような対策ができるか考えられるようにしたい。③多くの方が測定に参加してほしい。今回の測定では大学生と協力したが、会員は私一人だったので、設置・回収のみならず、測定のほうも協力できたらありがたい。

前回と今回を振り返って、大学で環境を学んできた私が先頭に立ってNO₂測定を行って、大変なことがあったり、悩んだり色々あって大変だったが、いろんなことを学ぶことができた。今年の12月のNO₂測定も頑張りたい。

(松下泰行)

～私たちの活動～

今年も「依知南地域子ども教室」応援しました。



鉋を使って焚き木をつくる

厚木市依知南公民館主催の「依知南地域子ども教室」を応援しました。6月23日(土)地域の小学校3年～6年生を対象に《自然を五感で感じて》をテーマに「雑木林って何だろう」と題して自然環境学習会を企画、講師として青砥航次、高橋弘毅がサポートしました。

わらべうた遊び「あんたがたどこさ」などで学習会を盛り上げた。「はつらつ雑木林 依知南の会」活動をパワーポイントで紹介、昔から雑木林の恵みを利用されてきた生活手法の一部である焚き木の利用を実践しました。

学習の狙いは、暖かい空気は軽くなるのだ！を経験する。①マッチの擦り方 ②ミニ焚火の体験 ③紙など使わない焚きつけの準備方法 ④効果的な燃やし方 ⑤熱エネ

ルギーの利用＝ゆで卵、ジャガイモやインゲンを茹で、焼きいも（サツマイモ）で自然の恵みを味わい楽しみました。⑥燃えカスの後始末方法や釜洗いも行いました。

外で食べると“ジャガイモもバターが無くても美味しいね”“ゆで卵の殻が簡単に剥けた”また、マッチ擦りや鉋を使うことに興味しんしんで賑やかなひと時を過ごしました。“新しい友達が増えた”など子どもたちの感想もありました。参加者14名。

7月23、24日「小鳥はどうして生きているのかな？」7月26、27日、五感を使おう「地域の生きもの調べと紙芝居づくり」も好評でした。
(高橋弘毅)

事務局からお知らせ

3.11の震災と原発事故は多くの人びとの暮らしを変え、今後の社会の在り方にもしっかりと私たち自身もそれぞれが問い直していくことが必要な時代になりました。

今年度は多くの会員が「いまできることは何か」と考えた活動を行っていきます。それを支えるのが事務局の役割です。そんな思いの中で、今年度の重点目標としては活動のサポートや資料・記録の管理の充実などを図っていきたいと思います。

4月から事務局の分担が代わりました。事務局全般を鷺谷雅敏が、庶務関係として仏淵恵、今澤彩子が担当していきます。不慣れで戸惑うことばかりですが、ご協力のほど宜しくお願いいたします。
(事務局：鷺谷雅敏)

みんなの環境 第32号 2012年8月12日発行

編集・発行 あつぎ環境市民の会 代表 狩野光子 / 制作 長岡恂
電話/FAX 046-224-5010 e-mail: mitsuko-karino@ayu.ne.jp
事務局 〒243-0122 厚木市森の里3-4-3 鷺谷雅敏方
e-mail: pxa05613@nifty.com
郵便振替口座 00200-7-132779 (年会費 A会員:2000円 B会員:1000円)

(C)あつぎ環境市民の会 2012